

授業日時/教科・単元 2011 年 10 月 5 日 2 時間目/国語「だれがたべたのでしょうか」

授業者 恒任 珠美 教材作成者 編著者による書き下ろし

ジグソー型の授業を実践していかがでしたか。以下の点についてコメントをおきかせください。

① 授業中の子どもたちの反応はどうでしたか？

- ・初めての学び方ということで、楽しみながら学習することができました。
- ・いつも一斉授業をしている子どもたちなので、友だちが読みとったことを教えてもらう活動に新鮮さを感じ、いつもとは違った表情でした。

② 教材について、うまくいった点あるいは改善したい点はどこですか？

- ・エキスパートで、友だちと相談する前に、自分一人で読みとり、書き込みをする時間を設定すればよかった。
- ・ジグソーで、友だちに伝える際に、文章をそのまま読むのではなく、相手にわかりやすく伝えるための定型を決めておくとよかった。
- ・課題を「たべあとをみると、どんなことがわかるとかいているでしょう。」としたが、最初は、文章事実よりも、写真やこれまでの知識から考える子どもが多かった。文章事実を板書したり掲示したりして、全員で確認してからクロストークに入ると良かった。

③ 今後ご自分の教室で「協調学習」を目指した授業を行うには、どのようなメリットとデメリットがありそうだと感じましたか？

- ・一斉授業の中では、段落ごとに読みとりを行い、1年生の段階で大切な助詞「が」「は」の使い方、短文作り、主述の関係などを学習するのですが、こうした学習がその時間の中ではできずに事後になる。
- ・教材・子どもの実態に合ったワークシートの作成に時間を要する。
- ・友だちに学ぶ・友だちに教えるということから子どもたち一人一人がやる気を持って学ぶ姿が見られた。
- ・読みとりの時間を凝縮することができ、調べ学習や発展学習の時間を持つことができる。

④ そのほか気づいた点、次に「ジグソー型」でやってみたい単元などあればお書き下さい。

- ・調べ学習の中で、なかなか「おもしろい！」問題ができています。また報告します。
- ・今回説明文教材での実践でしたが、文学教材・「話すこと・聞くこと」「書くこと」でもどんな授業デザインができるのか考えてみたいと思います。